

## 『HAND SHAKE』

### 登場人物

汐田 充(シオタ ミツル)...男。高校一年生。

川澄 千晴(カワスミ チハル)...女。高校三年生。

藤乃 杏子(フジノ アンズ)...女。高校二年生。ダンス部。

佐伯 旭(サエキ アサヒ)...男。高校三年生。

衛藤 俊一(エトウ シュンイチ)...男。高校二年生。

舞台上には出ないor回想で出てくる登場人物

衛藤 詩(エトウ ウタ)...女。高校一年生。ダンス部。衛藤の妹。

柳屋 航(ヤナギヤ ワタル)...男。高校二年生。

加藤 尚(カトウ ナオ)...女。高校一年生。ダンス部。

安田 麻里(ヤスダマリ)...女。高校一年生。ダンス部。

教師...男。

中年の男...男。

### 幕開け

汐田板付き

汐田スポット

汐田 ”それ”に出会ったのは、興味本位で覗いた学校の裏掲示板だった

汐田 陰口、悪口、妬み嫉み、いじめの暗示、見ていて気分のいいものじゃなかった

汐田 そんな中、一件のURLが青く光るのを見つけた

汐田 有害なサイトへの誘導だと無視して、画面をパタン、と閉じてもよかった

汐田 ただ、なんとなく。なんとなく無視できなかった

汐田 .....覚悟を決めてリンクを開くと、短い文章.....いや、『問題』があった

汐田 それは、クイズだった。クイズ、クロスワードパズル、水平思考問題、多様に続く『謎の群れ』がそこにあった

汐田 推理小説を読みふけり、ミステリーと名の付くものを片っ端から消費していた僕には、赤子の手をひねるように簡単だった

汐田 何度も何度も正解を打ち込んでいく

汐田 最後の問題だった。その問題を解いたあとのローディングだけ異様に長かった

汐田 ……スクリーンの中に短い文章、これは『問題』ではなかった

汐田 『ほとんど毎日 中庭木の下』。そう書かれていた

暗転

川澄、藤乃、佐伯の三人が机を囲んでいる

藤乃 今どきガラケーってハッキリ言ってやべえぞ

川澄 人の勝手でしょ。スマホって機能が多くてよくわかんないし

佐伯 それが女子高生のセリフか。

川澄 女子高生のセリフですけど。お茶犬に、たればんだ、たまごっちでしょ。あとミサंगाね。

佐伯 いつの時代や。20年くらい凍らされてたんか

藤乃 スマホなかったらソシャゲもできねえじゃねえか。人生楽しいか？

川澄 ソシャゲってのはよく分かんないけど。ゲームって言ったらおどるメイドインワリオ、ぷよぷよ通(つう)、ロックマン3にゲームアンドウォッチね。

佐伯 なんでどンドン古なんねん。お前は何世代におんねん

川澄 全然興味無いけど、杏子は彼氏とどうなの

藤乃 興味は持ってから聞けよ。……毎日会ってる。しかも毎日プレゼントくれるんだぜ、最高だろ？

川澄 ホントよく男勝りな杏子に彼氏出来たよね、今でも信じらんない

藤乃 男勝りで悪かったな、おっさんみたいな趣味してる奴に言われたくねえけど

川澄 おっさんってどこが！ドンピシャの女子高生でしょ

佐伯 まあまあ二人とも、俺がおっさんってことでここはひとつ

二人 は？

佐伯 おーこわ……そうや。トランプでもやろや、暇やし

川澄 いいけど。何やる？

藤乃 インディアンポーカー！

川澄 杏子ほんと好きだよな…

佐伯 インディアンポーカーな、わかった

川澄 じゃあ、カード配って…

室内、若干暗くなる

扉の外にスポット

汐田が訝しげに入場

汐田 うわ～……木の下って、木の下の地面の下だったんだ。学校に地下室なんて作って何がしたかったんだろう……授業で使うにしては狭すぎるし。『ほとんど毎日』ってここで何してるんだ……？教師の陰謀がここに……みたいだな……

汐田 と、とりあえず入ってみるか……

汐田、扉を開けて入室  
室内の明るさが元に戻る

3人と汐田、互いに驚くりアクション。  
トランプを額に掲げた3人が教室の隅に逃げる。

藤乃 だだ、誰！？ち、ちはる、やっつけて

汐田 あの、あ、あなたたちは、ここで何をしてるんですか

川澄 待って待って、落ち着いて。私たちは……いや、まずなんでここがわかったのか、そこから

汐田 あ～、はい……裏掲示板に書いてあったからです。

川澄 あ～裏掲示板！……知ってる？（藤乃に視線）

藤乃、首を振る

藤乃 やっば怪しい！！こわい！すげーこわい！！

佐伯、汐田にゼロ距離で近づく

佐伯 ふ～ん……

佐伯、汐田を観察する素振り

汐田 なんですか！！？

佐伯 合格。コイツうちに入れたろ

一同、は！？え！？など

川澄 佐伯、どういうこと？説明して

佐伯 俺は少し前、ニンテンドーDSでレイトン教授をプレイすののにハマった

川澄 どうでもいい

藤乃 帰れ

佐伯 影響されやすい俺は、謎解きの問題を自分で作りたくなかったわけや。でも、問題を出す相手も場所もない。困った俺は、ついに思いついてもうたんや。世紀のアイデアをな。

川澄 早く言え

藤乃 長い

佐伯 俺の作ったかわいいかわいい謎を裏掲示板に放流し！ここの試験にしてやればええってな！

汐田 なるほど！あの大量の問題は、ここの入隊試験のようなもので、正解数に応じてこの場所を示すテキストを表示する仕組みだったんですね！！あ～～ スッキリした～！

川澄 すごい喋る

佐伯 よう分かっとるやん。さすが合格者や。これからよろしく。俺は佐伯旭、サエちゃんでもアサちゃんでもえ(えで)

川澄 待って待って。勝手に話進めないで

藤乃 そう！そもそも新メンバーとか求めてねえし！

川澄 それに……汐田充くん。彼への説明がまだ

汐田 え！！？なんで僕の名前……どっかで会いましたっけ……

佐伯 ちゃうねん。こいつは全校生徒のプロフィールを抑えとる、『人間人間データベース』。つまり変態やねん

汐田　すごい！！プロファイラーじゃないですか！！それが本当だったらとんでもない情報収集能力、はっきり言って超人ですよ

藤乃　うわ～引かねえやつ初めて見た。引かねえことに引くわ

川澄　佐伯、その子入れてもいいかもしれない

藤乃　え！？千晴まで……

佐伯　せやろ？さっそくこの子を……そのまえに説明やったな。俺も強制したいわけちゃう

汐田　そうです、説明が欲しい。……一体ここは何なんですか？？

川澄　ここは私から。(感じ変わって)社会は腐っている

汐田　なんか始まった……

川澄　学校や警察は、自分の保身のために正義や福祉を疎かにしてしまう。個人の利益ではなく、本当に困っている人間に手を差し伸べる！我々は、生徒を救うために悩み事や事件を解決に導く特務機関として活動している。平たく言えば、学校限定の探偵事務所ってとこかな。

汐田　おお……！

佐伯　そういえばカッコええ感じするけど

藤乃　実際は身内のどうでもいい悩み事を聞いたり、失くし物を探すくらいの地味なことしかやってねえ

川澄　うん……。世の中に事件ってそんなに転がってないんだよね……。いいことなんだけど

汐田　すっごいじゃないですか！！なにそのワクワクする組織！しかも活動拠点は地下室！！うわ～いいな～！

佐伯　するやろ？加入。したいやろ？

藤乃　私は認めてねえからな！！この話自体！！

汐田　……是非入らせて～(言い淀む)……。いや、さすがにちょっと考えさせてください……

心の声が流れる

心の声　俺はFBI捜査官、デイビー・ロバートソン。今日の仕事はギャング組織の潜入捜査だ。こんなの、ストロベリードーナツを頼張りながらもクリアできる簡単な(仕事さ)

汐田　一回止めてください！！あの、心の声、違うんで。FBI捜査官デイビー・ロバートソンじゃないんで。もう1回お願いします。

心の声 どこまでこの人を信頼していいんだろう……。楽しそうだけど、小説みたいなことにはならないだろうし。実際の探偵も浮気調査ばっかで夢ないもんな…

川澄 汐田充、1年2組。推理小説マニア。読んできた小説の数は1000冊を超える。ミステリーと名のつくものは全部好き。使ってるシャンプーは馬油。小学校のとき、帰郷して出会った長身の女性と素敵なひと夏を過ごし、未だにその経験を忘れられない。ほくろの(数は)

汐田 あ～！！止まってください！！さすがに怖いです。なんで知ってるんですか。怖いな！！

川澄 ある、推理小説みたいな事件解決したこと

汐田 え！？

佐伯 おい……

川澄 まだ汐田くんは入学してないと思うけど。去年の冬ごろ、今からちょうど一年前くらい。男子生徒が死にかけの状態で見つかった。

川澄 事故だって話が進んでたけど、違和感を感じた私たちが動いて、ある事実にとどり着いた。実際は、痴情のもつれによる殺人未遂事件だったんだよ。学校は犯人を知っていた上で、隠そうとしてたんだ。本当に酷い話

汐田 そうだったんですね！ニュースになってた事件。す、すごいです。嘘みたいな話だ

川澄 ここに来るような依頼は地味なものが大半だけど、社会の代わりとして、私たちの存在意義は確かにある。どう？つまらなくないでしょ

間

汐田 ……決めました。

佐伯 お！

汐田 入りたいです。……役に立つかわかんないですが

佐伯 さすがや充くん、信じとったで。

佐伯 改めまして俺の名前は佐伯旭、三年生。よろしく、な！

佐伯、汐田と乱暴に握手

汐田 よ…よろしくお願ひします

藤乃 ……藤乃杏子。二年。これは、仕方なくのやつな

藤乃、汐田と適当に握手

汐田 よろしくお願ひします…！

川澄 私は三年の川澄千晴。よろしくね

川澄、丁寧に握手

川澄 汐田くんには光るものを感じます。歓迎しましょう、『はじける新星！スーパーノヴァ探偵団～ウチらってまち最強じゃん～』に。

汐田 えダサ

藤乃 ダサイ

佐伯 ダサイし古い

川澄 ダサくない！！！！カッコいいでしょ、特にこのはじける！はじける！がいいでしょ

川澄が喚くが他は無視

佐伯 充くんもやろうや、途中やってん。インディアンポーカー。

汐田 ああ、はい！だからトランプ掲げてたんですね。ルール教えてください

川澄 ねえ～！

それぞれが席に着きインディアンポーカーを再開しようとする

衛藤が勢いをつけて入室

衛藤 何でも解決してくれるって本当ですか！！！！

四人がトランプを額に掲げながら衛藤の入室に驚いて後ずさり、部屋の隅へ

藤乃 だあああ！！次はだれ！！？？なに！！！！こわい！！！！ちはる……(川澄の陰に隠れようとする)

川澄 び、びっくりした……

衛藤 す、すみません。困ってたらここを紹介されたので

汐田 依頼者の方みたいですよ……？

藤乃 な～んだ。客ならそう言えよ！ビビって損したわ

川澄 知り合いじゃない依頼者が直接訪ねることなんて初めてだしね……

佐伯 解決ならできると。そういう場所やからな

衛藤 よかったです。あの、……皆さんなぜトランプを

四人、気まずそうにトランプを下げる

川澄 (咳払い)、とりあえず座りましょうか……

汐田、藤乃、佐伯着席

川澄、衛藤を案内しつつ着席

衛藤 昨日の放課後のことです。部活が終わったあと、教室にスマホの充電器を忘れたのを思い出して、帰る前に取りに戻りました。

衛藤 教室に着いて、充電器をみつけたとこまではいいんですが、急な尿意に襲われて荷物を全部置いてトイレに駆けたんです

藤乃 ふ～ん、それで？

衛藤 あ、はい。ちゃんと手は洗いました

藤乃 聞いてねえわ、続きを話せ、続き！

衛藤 あ、なるほど。……戻ってきたらカバンの中から物が消えてました

汐田 窃盗！？何が盗まれたんですか？

川澄 財布とか？

衛藤 いえ、くまさんのぬいぐるみです

四人 くまさんのぬいぐるみ?????

汐田 か、かわいい趣味されてますね

藤乃 けっこうキツいんだな

衛藤 あー、違って、妹から預かってたんです

汐田 妹さん…？

衛藤 学校に行ってる時間帯、ウチに誰もいなくて。不安だからお兄持ってて！って

佐伯 妹ちゃんが持ってけばええやん

衛藤 うちの妹、超がつくほどのドジなんで、一日一個モノ失くして帰ってくるんです。最近は何ケたりぶつけたりのケガも多いし……

汐田 ドジとかのレベルなんですかそれ



衛藤 妹に失くしたのがバレたらなんて言われるかわからないし……途方に暮れていたら、このことを教えてもらったんです

川澄 よし、そういうことなら私たち『はじける新星！スーパーノヴァ探偵団～ウチらってまち最強じゃん』に任せなさい！

佐伯 サブタイトルみたいなんがいらんねんな

川澄、佐伯を無視して話を続ける

川澄 ……って意気込んだのはいいけど、明日はここの定休日だから。明後日からになるけどいいかな

衛藤 問題ありません。むしろ、ありがとうございます。

川澄 よかった。じゃあ……よろしくね

川澄と衛藤が握手

衛藤 よろしくお願ひします

暗転

劣化した音声流れる

詩 ……先輩……！……藤乃……先輩……！！（苦しうに）

翌々日、汐田、川澄、藤乃が話し合いをしている。

川澄 衛藤俊一、高校二年生。硬式テニス部所属。愛称ロボット。頭が固すぎる朴念仁。家族愛と涙脆いところもあって、感情がないわけじゃない。

汐田 問題は妹の衛藤詩。高校一年生、ダンス部。その完成された見た目と子供っぽい性格から入学して一躍人気者。学年のマドンナなど真ん中みたいな人です。僕も面識はありませんが、よく知っています。

藤乃 衛藤って詩の兄貴だったんだな。

川澄 そっか、杏子の後輩だよ。どんな子？

藤乃 文化祭終わってから入ってきた途中参加組。……アイツ異様に懐いてきて鬱陶しいんだよ。頭お花畑のメルヘン女だけど、ダンスの実力は確かで、他の奴らもチャホヤしてる。

汐田 裏だと腹黒で……みたいなのではなく？

藤乃 いややねえな。あれが演技だったらかなり引く。いや今でも引いてるが

佐伯、扉の前に立つ

佐伯 入るで～

川澄 待って

佐伯 あ～そうやったわ。事件を扱う時は、決めといた合言葉で入室やんな

川澄 汐田くんの初恋相手

佐伯 ロールパンナ

川澄 よし、通れ

汐田 あの！！やめません！？！人の個人情報を合言葉にするの！！

佐伯 お疲れ～

藤乃 おせえぞ旭

佐伯 ごめんごめん。ただ今回の事件、解決してもうた

川澄 え、どういうこと？

佐伯 これ見てくれ

佐伯、鞆からくまのぬいぐるみを取り出す

佐伯 じゃじゃじゃ～ん

汐田 これって！衛藤さんが失くしたぬいぐるみですか！？

汐田、川澄、藤乃が佐伯に近づく

藤乃 お手柄じゃねえか！うわ～詩はこんなのを気に入ってたのか

佐伯 青いリボン、俊一くんが言っとった特徴と一致する。こいつが花壇の端っこに落ちてたんや。

汐田 あっさり解決しちゃいましたね

川澄 でももし盗みだったら犯人が……

佐伯 衛藤がもし、トイレから教室に帰ってきたとき、初めて鞆を確認した、としたら

汐田 衛藤さんは花壇で落としたのをトイレに行ってる間に盗まれたと勘違いした……？

佐伯 そういうことやな。そもそも犯人なんておらんかったんや。

藤乃 な〜んか腑に落ちねえけど、見つけたんだしいいか！こいつを詩の兄貴に届けたら終わりだな！ははは

汐田 このぬいぐるみ、どっかで……

衛藤、神妙そうな表情。不穏な様子で扉を開けて入室

川澄 あー、合言葉……

佐伯 俊一くん、ええとこに来た。ぬいぐるみ、あったで！花壇に落ちとった

川澄 衛藤くんが落とただけだった、ただの不用意でお騒が(せな)

衛藤 死んだ。詩が。

間

四人 え？

汐田 何を言って

衛藤 ……昨日のことです。もう、返せなくなった。ぬいぐるみ

藤乃 え……詩が？なんの冗談だ……

衛藤 放課後、誰もいない旧校舎の教室で……首を吊ったって(言い淀む)。自分で警察の人がそう、言っていました

汐田 そんないきなり……

衛藤 そんな訳ない！！！！

佐伯 落ち着け！！

衛藤 ……すみません……詩は、毎日楽しそうで。(言葉に詰まりながら)『誕生日、お兄何ほしい？詩が買ってあげる』、そう、言っていました。辛いことがあっても常に前を向こうとしてた詩が、自ら……

川澄 ごめん、なんて声をかけたらいいか……

汐田 他殺ですよ……

藤乃 ……は？

汐田 これは見かけ殺人。そう言いたいんですよね、衛藤さん

衛藤 ……警察の人も、学校も他人の手は及んでいないと話を進めていました。だから、ここに来たんですよ

汐田 僕たちで見つけるんですよ、犯人

佐伯 充くん、それは看過できへんな。俺ら子供が勝手に関与してええこととちゃう。危なすぎんねん

汐田 でも、一年前の事件は……

川澄 あれは……

藤乃 犯人と対峙したんだよ。私たちと、犯人。死ぬ気でそいつ抑えて何とか捕まえたけど

佐伯 相手は一回人を殺そうとしとる。3対1って感じちゃうかった。ちっちゃい3とでっかい1。あんな危険なこと俺らがせなあかんことちゃうかった

間

衛藤 ……皆さん、大丈夫です。警察や学校だってバカじゃありません。きっと犯人を見つけ出してくれる

汐田 ……衛藤さん！

川澄 ……この学校は腐ってる。前も自分たち学校の保守のため、事件性を消そうとしてた。その気になれば犯人だって庇う。短期間で二度目のってなると、もみ消そうとするだろうね

衛藤 そんな、そんなことが許されるんですか……！！！！

間

川澄 私たちでやる。解決、する

藤乃 うん。詩が死んだって……まだ呑み込めてねえけど……。犯人がいるんだったら捕まえないと気がすまねえ

佐伯 ……ぜったい、喧嘩禁止やからな！！俊一くんやっけ。とりあえず詳細を教えてくれ

汐田 皆さん……！！

衛藤 ……はい！！！！昨日の……

暗転

汐田、川澄、藤乃が室内で話し合っている

汐田 整理しましょう

汐田 まず、事件当時の状況から

川澄 被害者の衛藤詩は放課後、校内塾に行ってた。

藤乃 校内塾？

汐田 ふつうの授業とは別に、放課後特別に塾を開いているんです。希望した生徒がお金を払って受講するシステム

藤乃 あー、そんなのあったな。入学した時に案内された気もしなくもねえ

川澄 衛藤詩は校内塾の帰り、旧校舎に向かった。

汐田 ここの近くにあるウチの旧校舎ですね。来年には取り壊される予定ですが、整備も管理もされてなくてほとんど放置に近い状態です

川澄 そして、一階の教室で首を吊って亡くなった。

藤乃 わかんねえな。なんで旧校舎で、しかも詩が。アイツが他殺を信じたがるのも分かる

汐田 衛藤さんによると、死亡推定時刻は午後5時30分。警察と学校の間では事件性がないと話が進められています

藤乃 あ！ドラマで見た事ある、“争った形跡”みたいなのがあれば他殺の可能性が高まるんじゃないかねえか？

川澄 旧校舎の教室はどこも荒れてて、カモフラージュにはもってこい。だから争った形跡を判断するのは難しい

藤乃 ああ、ま、そうだよな

汐田 死体には外傷がありましたが、どれも事件前に付けられたもの、だそうです。

川澄 衛藤くんが言ってた、毎日ケガして帰ってくるってのがそれだろうね

汐田 次に、他殺と仮定した場合の容疑者を洗いましょう

藤乃 候補は、その日校内塾の受講日だった生徒7名とその教師だな。……それと同時に活動があったダンス部の部員6人。

汐田 被害者の詩さんは、校内塾を優先させ、その日のダンス部を休んでいました

藤乃 アイツがたまに休んでたの、その塾が理由だったんだな

汐田 ダンス部と塾の終了時間は同じく午後5時。ダンス部に関連性がなかったとも言い切れません。

藤乃 ダンス部の中に殺人犯がいるってことか……。私は人間関係が希薄すぎて正直それぞれどんな奴かもわかってねえ

川澄 杏子っぽいなー……。……。私が特に怪しいと思ってる容疑者、挙げるね。

汐田 人間人間データベースの推理、是非聞かせてください！

川澄 詩ちゃんと特に関係性があった三人。もちろん杏子は外しての三人ね。

藤乃 ああ。

川澄 まず柳屋航(ヤナギヤワタル)。高校二年。大人っぽい雰囲気と特有の色気で一部の生徒から人気のある男子。

汐田 柳屋さんか……。犯人とは思えないな。

藤乃 汐田と知り合い？

汐田 あ、いや。地方新聞に人助けをした高校生として載ってたんで……。

藤乃 人助けと人殺しどっちもクリアしてるやべーやつってことか

川澄 まだ犯人かわかんないから。……。次に加藤尚(カトウナオ)と安田麻理(ヤスダマリ)。ダンス部一年。被害者と同級生ってこともあって三人で行動することも多いダンス部の仲良しグループ。

藤乃 ダンス部の一年は三人しかいねえし自然とそうなるだろうな。とくに詩のやつは文化祭後の途中参加だったけど、この二人が人当たりのいいやつだからすぐに馴染めてたんだ……。たぶん。

汐田 詩さんは文化祭の後に入ったんですね。ダンス部の発表、すごかったもんな……

川澄 ちなみに！

藤乃 ちなむかあ

川澄 加藤尚は有線イヤホンにこだわりを持ってて、ワイヤレスイヤホンは認めてないらしい。イヤホンジャックが付いてないとスマホじゃないって主張してる

藤乃 たまに在るわそういう奴

汐田 この三人の関係性が濃いと言っても、詩さんを殺すような動機はなさそうですけど……

佐伯入場、扉の前

佐伯 入れて～

川澄 ちょっと待って

川澄、室内から扉の前に

川澄 汐田くんが昔あげたネット小説のタイトル

佐伯 デスマグマ

川澄 主人公の名前

佐伯 デスマグマン

川澄 ヒロインの名前

佐伯 デスマグ美

川澄 よし、通れ

汐田 これ変える必要ありました???

藤乃 また遅刻じゃねえか

佐伯 俺は俺で解決のために動いとんねん。事情聴取、や

汐田 おー！それっぽい！ワクワクします

佐伯 事情聴取いうても事件について直接聞けるわけないから、ちょっと話ただけやねんけど

佐伯 校内塾で事件の日担当やった教師に話を聞いた。ちょ、ちょっと充くん、こっち来て。そこ座って。はい(手を叩く)

手を叩いたタイミングで照明の雰囲気切り替える

ここから、汐田が教師として回想シーン

教師 衛藤について聞きたいだって？おいおいおい佐伯もそういう時期か～！応援してるぞ、先生

佐伯 そういうのええんで。校内塾での詩さんについて知りたいんですよ

教師 はいはい、そういう事にしといてや、る、よ。先生も大人だからな。……塾での衛藤か、真面目に受けてたぞ。頭はとんでもなく悪いんだが、宇宙人が必死に追いつこうとしてるみたいで好感は持てる

佐伯 仲良くしてた生徒とか

教師 ク～！！そこだよな、そこが気になるよな。もちろん先生が教えてやるから。安心しろ。

佐伯 うざいです。こっちも急いでるんで。はよしてください

教師 (微笑みつつ)うんうん。……仲良くしてた生徒は、二年の柳屋。受講日が偶然かぶってて学年も違うのによく話している印象だ。あいつも頭が驚くほど悪いんだよ。宇宙人同士気が合う

んじゃないかな。あ！ごめん！お前にとっては、バッドニュースだったよな……でもこれは事実なんだ

佐伯 あーはい。他にはありました？

教師 スーツ……これはさすがにと思って言わないようにしてたんだが。柳屋と衛藤は帰りよく一緒だったんだ。衛藤の方が帰り一人が怖いって言ってて、柳屋がそれに付き合う感じ。……先生は諦めないことが肝心だと思うんだ、敵は強いぞ～。頑張れ佐伯！

佐伯 十分です先生！ありがとうございました！！

照明元に戻す

川澄 ノイズが多い回想だったね

汐田 帰り道が一緒だったんですね

藤乃 帰り一人が怖い……なんも気にしてなさそうなあいつが言いそうにねえな

川澄 あの人気っぶりならストーカーがいてもおかしくないけど

佐伯 先生に話を聞いた後、ダンス部の一年に話聞いた

汐田 加藤さんと安田さん、ですね

佐伯 あ～川澄はこれ着けて(イヤホンと手袋を渡す)。

川澄 え？うん

佐伯 はい(手を叩く)

照明の雰囲気切り替える

ここから、川澄が加藤、藤乃が安田として回想シーン  
加藤は有線イヤホンを耳に、手袋をはめている

佐伯 そこのお嬢さん二人！帰ろうとしてるとこ悪いねんけど、ちょっとええかな？

加藤 なんですか

安田 あ！！もしかしてスーパーノヴァ探偵団の人??

加藤 あ～あなたが

佐伯 え！俺らのこと知ってるん？照れるわ、どないしよ

加藤 藤乃先輩から事件が起きたら、スーパーノヴァ探偵団につて。



安田 去年ニュースになった事件解決したのって先輩方なんですよね！！

佐伯 あいつ……いらんこと……

加藤 何か事件が起きたんですよね、こうやって話を聞きまわってるってことは

佐伯 せやねん！詳しくは言われへんねんけど、衛藤詩さんについて知りたいんやけど

安田 詩？？詩はね、めっちゃいい子で、ホントかわいいんですよ

加藤 ダンスの実力は私たちの数段上。半年くらいの差、すぐ埋められました。可愛くて強い、勝てない存在。

佐伯 ふ～ん。なんか、詩さんが恨まれる～みたいなことあった？

加藤 なんですかその質問

安田 まるで詩が殺されて、その犯人を探してる刑事さん！みたい

佐伯 え……？

安田 恨まれるような子じゃないと思います！藤乃先輩が詩の絡みしんどそ～にしてたくらい？  
(笑)

加藤 愛想もいいし、自分の実力で大柄な態度とるようなこともなかったし。ダンス部内ではかなり良好な関係を築けていたと思いますよ

佐伯 あ、頭にゴミついてるで(加藤の頭についてるゴミを取ろうとする)

加藤 やめてください！！！！(佐伯の手を思い切り振り払う)

佐伯 え……

安田 尚！

加藤 あ、すみません。自分たちはここで

佐伯 あ～うん。ありがとな～！

照明元に戻る

藤乃 しんどいとか思ってねえし！思っちはいるけど！そんなんで殺すか～！！

川澄 まあまあ、殺人とか何も知らない中協力してくれたんだから

佐伯 事情聴取は以上。俺がおらん間に話すすんだ？

汐田 わかった！！！！！！！！！！(大声)

川澄 わ～びっくりした

佐伯 犯人！??

藤乃 マジか！?

汐田 あ～すみません、違います。そのぬいぐるみの、“既視感の正体”がわかったんです

川澄 既視感？見たことあるの？これ

汐田 いや、見たことあるっていうか、持ってたんですよ。僕の父親、小規模なおもちゃ屋を営んでて。子供のころ、在庫処分に遭うおもちゃをよく持って帰ってきてくれたんです。

藤乃 だから何だよ！お前の身の上話どうでもいいっつもの

汐田 違うんです。このぬいぐるみには秘密があるんですよ

汐田、ぬいぐるみの両手を持つ

汐田 両手をグッと握ると、録音した音声が出るんです。確か商品名は『おしゃべりクマちゃんDX』

川澄 あ～！録音機能か！あったな～こういうおもちゃ

佐伯 もしこのぬいぐるみに録音が残って、殺人が行われる直前に録られたもんやとしたら

三人 事件の手がかりになる！！

汐田 早速試しましょう

川澄 よし、たのんだ！

汐田 やってみます……

汐田がぬいぐるみの両手を握る

間

汐田 ……ん？

藤乃 あれ……

川澄 録音、されてくない？

佐伯 ……振り出し、やな

汐田 ちょっと待ってくださいよ！ぜったいなんかありますって！

佐伯 地道に考えるしかないみたいやな

汐田 そうだ佐伯さん、柳屋さんの容姿について教えてもらえますか。なにかヒントになるかも……

佐伯 容姿？身長は高めで若干筋肉質やった。彫りが深いソース顔タイプ。ツリ目で、唇は薄い。あれなんて言うんやっけ、鷲鼻や

藤乃 へえ～そう……

川澄 ん～～～～？？

藤乃 なんだよ急に。バカみたいな声出して

川澄 バカは余計だけど……。な～んかその顔知ってるような、というか聞き覚え？があるような

汐田 見た目の話なのに聞き覚え……？

佐伯 俺もな～んか、引っかかんねんな……

間

藤乃 もう頭回んなくなってきたし、別のことしねえか？

汐田 え？

川澄 たしかに、リフレッシュも時には必要

佐伯 賛成。しりとりせえへん？頭使わんくてもできるやろ

汐田 いいんですか！？そうこうしているうちにまた犯人が人を殺すかもしれませんよ！？

藤乃 しりとりのり、りんご

川澄 ゴリラ

佐伯 ラツパ

間

佐伯 ほら次、汐田の番

汐田 は～～～……、じゃあ、……パブロ・ディエゴ・ホセ・フランシスコ・デ・パウラ・ホアン・ネポムセーノ・マリア・デ・ロス・レメディオス・クリスピン・クリスピアーノ・デ・ラ・サンディシマ・トリニダード・ルイス・イ・ピカソ

藤乃 なにそれキモ

汐田 ピカソのフルネーム。キモくありません

藤乃 孫正義

川澄 蒋介石

佐伯 金正日

汐田 ……ルパン三世

川澄 中国人じゃないじゃん

汐田 そんなルールないでしょ！！

藤乃 イボイノシシ

佐伯 イノシシだけでええやろ

川澄 シュークリーム

佐伯 ムースケーキ

汐田 ……絹ごし豆腐

川澄 あのさ、ちゃんとやろうよ

汐田 勝手に流れ作るのがやめてくれます！？

藤乃 関係ないけど今度スイパラ行かね

汐田 わかりやすいなこの人

藤乃 えっと、『ふ』だっけ。ふんどし

川澄 えっと、幸せ

佐伯 せか、う～ん、……背中？

川澄 あはは、背中って何。『せ』の一番前の引き出し『背中』て。はははは

藤乃 う～わ、千晴が全然理解できないツボに入ってる。佐伯のせいだぞ

佐伯 楽しそうでなによりやん

汐田 ……それだ。それですよ！！

佐伯 充くん！！……『そ』やなくて『か』や

汐田 しりとりはもう終わってください、ただ、このしりとりのおかげでわかりました。背中です、そこにヒントがあるんですよ

川澄 ちょ、背中ってあんま言わないで、今収まりかけてたのに

佐伯 背中がどうしたん？

汐田がぬいぐるみを持ってくる

汐田 (咳払い)。こいつの、『背中』です。

川澄 ははは、やめて、あ～はっは。おさまったわ(急に冷静になる)。ぬいぐるみの背中が何？

汐田 これに録音機能があるって話をしましたよね。

佐伯 両手握ったら流れるっちゅうやつやんな

藤乃 なんも流れなくて終わったでしょ

汐田 この『おしゃべりクマちゃんDX』、録音のボタンが背中についてるんです。中にあるんで、気づきにくいんですけど

汐田 そんで、このスイッチのあたりに……白い粉が付着しているのがわかりますか

川澄 わ、ほんとだ。

汐田がぬいぐるみに付着した粉を指ですくって舐める

川澄 えええええ、何してんの！??

藤乃 ええ！！味は！！？どんな味！？

川澄 そこじゃないでしょ

佐伯 何がわかったんや

汐田 やっぱり。これ、チョークです

三人 チョーク？(だ?)

汐田 帰って整理します。明日の放課後、旧校舎の教室に行きましょう。三階に現場とほとんど同じ教室があったはずですよ

暗転

教室に汐田、川澄、藤乃が集まっている。

汐田 衛藤さんは色々立て込んで、佐伯さんは調べたいことがあるから……。ま、お二人がいれば十分です

川澄 なんでまたこんなところに？

藤乃 サツに見つかったらどうすんだよ

汐田 説明のためです。まずは、この音声を聞いてください

汐田がスマホで音声を流す

音声 ~~~！~~！~~！やめて！先輩！！！~~~！

藤乃 これ、何……？？

汐田 こいつですよ

汐田がカバンからぬいぐるみを取り出す

川澄 ぬいぐるみ？音声はなかったはずじゃ

汐田 ない、に等しいほど小さかっただけです……ぬいぐるみの背中にはチョークの粉が付着していた

藤乃 汐田が舐めまくってたやつな

汐田 そんな舐めてないです。この汚れ、衛藤さんに確認したんですが、衛藤さんが無くす前には綺麗な状態だったそうです

川澄 ってことは、チョークの汚れはぬいぐるみが盗まれて佐伯が見つかるまでの間に付けられた

汐田 もっと言えば、事件の最中につけられました。

藤乃 なんでそんなことがわかるんだよ

汐田 被害者を呼び出した犯人は、何かしらの理由で黒板にぬいぐるみを投げつけました。

汐田、投げる軌道を描くようにぬいぐるみを持ちながら移動

汐田 その時奇跡的に、『おしゃべりクマちゃんDX』の目玉機能、録音が始まりました。背中ボタンが押されることで。

川澄 ああ、だからか

藤乃 だからかって何！？わかってないの私だけ？？

川澄 あーいや、録音された音声がすごく小さかったのって。声とぬいぐるみの距離が、遠かったから、ってことだよ

汐田 ええ、その通りです。そして、この音声。明確に聞き取れる部分がありましたね

川澄 やめて、先輩……

汐田 そう、やめて、先輩。衛藤さん曰く、詩さんと上の学年と繋がりがあるのは部活だけらしいです。つまりこの音声が指す先輩は、詩さんが所属する部活、ダンス部の先輩と考えて自然でしょう。

汐田 この先輩とはだれか、三年生の部員は九月の文化祭で引退しています。詩さんは文化祭のダンス部の発表に興味を持って入った途中入部生だった。つまり容疑者は、ダンス部の二年。男子三人、……そして藤乃さん。この四人です

藤乃 あ！？な、何が言いてえんだよ(動揺)

汐田 ダンス部の二年生の中で藤乃さんは唯一の女性、ですよ

藤乃 それがなんだよ！！

川澄 汐田くん、もう一回音声を聞かせてもらえる？

汐田 ええ、そのつもりでした

音声が流れる

川澄 この音声、ちゃんと聞くと声が二つある。たぶん衛藤詩の声と、もう一つ。女性の声だ

汐田 詩さんが先輩と呼ぶ女性。それは、一人しかいません

藤乃 ……な、なんだよそれ。わ、私じゃねえからな！？

川澄 杏子

藤乃 なんだよ

川澄 身長が高くて、鷲鼻でツリ目？だっけ。ずっと聞いてた。杏子の惚気話で。写真は見せてくれなかったけど、何回も言うから覚えちゃったよ

藤乃 いやそれは

川澄 杏子の彼氏だよ、柳屋くんって。詩ちゃんが一緒に帰ってるのを目撃した杏子は、浮気と勘違いした。それで旧校舎に呼び出して……

藤乃 なんだそれ！！バカか！私以上のバカ！

汐田 この音声には、続きがありました

汐田、スマホから音声を流す

音声 ~~~~！藤乃！先輩！！~~！苦しい！！！

藤乃 .....！

川澄 藤乃先輩、苦しい！！確定だよ！殺してどんな感じ！？返り血とか浴びた！？いや絞殺か！割と力いるよね！

藤乃 ちげーっての！なんで興味あるんだよ！

汐田 藤乃さん、警察に自白しましょう

藤乃 だから！！私じゃねって！！！！

汐田 認めてください！！！！

佐伯が教室に入ってくる

佐伯 あ~~走った走った。遠いねん旧校舎。おうお前ら、喜んでええで。事情聴取パート2に  
いって(きた)

汐田 佐伯さん、犯人がわかったんです。藤乃杏子さん、彼女がやりました。

佐伯 は？.....はっはっは！充くんなんやそれ、なんで杏子の人殺さなあかんねんアホか

藤乃 旭~~~~！！だよな！私が人殺すわけないよな！よかった~~~~！殺してなかった~！

佐伯 杏子までおかしなとるやん

川澄 いや、でも.....

佐伯 まあま、落ち着かんかい。話は俺の事情聴取で得た情報を聞いてから。

汐田 事情聴取って、もう聞くような人いないんじゃ...？校内塾とダンス部に話聞いたんですよ？

佐伯 俺は詩ちゃんが帰宅して、旧校舎に向かうまでを怪しんだ。そこで俊一から詩ちゃんの帰宅ルートを知って、その近辺の住宅をあたりまくったんや。

川澄 そんな、大変だったんじゃ

佐伯 まあ回ったんはざっと87軒やな

三人 87！？



汐田 87って素数ですか？

川澄 いや、3と29で割れる

佐伯 どこに食いついとんねん、数に驚けや。まあ話が聞けたんは11軒だけ。時間帯がアカンかった。

汐田 11は素数ですね！！よし！！

藤乃 千晴、素数ってなに

川澄 え

佐伯 もうええかー！！事情聴取でええ情報聞けたんやけどー

汐田 すみません、聞かせてください

佐伯 話聞いたんは中年の男。たぶん無職。じゃあ充くんいつもの感じで

汐田 あの、無職やるの嫌なんですけど

佐伯 え～！？贅沢やなあ。俊一く～ん！！はい！（手を叩く）

照明の雰囲気切り替える

ここから、衛藤が中年の男として回想シーン

ピンポンを鳴らす

佐伯 すんませ～～ん

佐伯がしつこくピンポンを鳴らす

佐伯 すんませんすんませんすんませ～～～～ん

中年 あ～～はいはい、今行きます……ってガキじゃねえか

佐伯 うわタバコ臭！……あ、はは。すんません！こんな昼間っから。最近こらへんで起きた事件について聞き回ってるんですけど、よければご協力をお願いしたいんですが

中年 はっ、警察ごっこか？よそ当たってくれ

扉を閉めようとする

佐伯 あ～っ、二日前の五時ごろ、外でなんかありませんでした？？

中年 しつけえな……二日前？……あ～、そうだ。俺が気持ちよ～く寝てたら外からうるせえ声が聞こえたんだよ。お前と同じくらいうるさい声の

佐伯 そんなで？

中年 あまりにうるせえから、外出て注意してやろうって。したら高校生の女が電話ででっけえ声でなんか言ってんだよ

佐伯 ほうほう(メモを取っている)

中年 『すみません！！今すぐ向かうので！！』って、ひたすらかしこまった感じで気持ち悪かったな。相手にビビってる？みてえな

佐伯 なるほど……その続きは

中年 あ～。『旧校舎ですね！！わかりました！！』つって走っていったな

佐伯 なるほど！ありがとうございます。あの、ちょっとすみませんね(中年の男と自撮りしようとする)

中年 な、なににして

佐伯 はいチーズ(カシャという音)

中年の男、ちゃんと笑顔とピース

佐伯 ほな！

照明元に戻す

藤乃 いやなんだよ最後の

汐田 やっぱ、旧校舎に呼び出していた人物がいたんですね！それが詩さんと仮定した場合、彼女が敬語を使う相手だった。……やっぱ藤乃さんですよ！

川澄 決まりみたいね！うわ～杏子が殺人鬼デビューか～！「いつかやると思っていました」の練習しないと

藤乃 だからちげえっての。そもそもな、柳屋は彼氏じゃねえ。私の彼氏は、クロエだから……(うっとりした感じ)

川澄 クロエ……？

汐田 外国人の方とお付き合いを？

藤乃 あ！の！な！クロエって言ったら大人気スマホアプリ『ヴァンパイア＋メモリーズ』通称”ヴァンメモ”の高潔な吸血鬼の男だろうが！！白い肌に真っ赤な唇が素敵なコントラストのクロエだろうが！！

川澄 な～んだ、彼氏って二次元的なそれだったんだ

藤乃 な～んだってなんだよ。実際クロエは私のこと好きだって言ってるから。種族を超えた恋だから。ついでに次元も超えてるから。ログインボーナスでダイヤくれるから！ヴァンパイアメモリーズ、皆様に愛されて今年で10周年。これからもご愛願のほどよろしくお願いします（客席に向かって）

汐田 そうですか.....

佐伯 はははは。な？こんなヤツが人殺すわけないやろ？

川澄 私たち冷静じゃなかったわ.....ごめんね疑って

汐田 自分からも、すみません！！

藤乃 ん？うん.....なんか納得いかない納得の仕方だけど。クロエは首筋が良いんだよな、まあ全部いいんだけど。特に首筋が.....

川澄 まだ続くん

汐田 あ！！！！思い出しました。僕、衛藤さんから詩さんの遺体を写真で送ってもらってたんです

川澄 どういうタイミングで思い出したんねん

藤乃 なんで私たちに内緒で

汐田 あまりにショッキングなのと、藤乃さんを疑ってたので.....

藤乃 あのな.....

川澄 それで、何を思い出したの？

汐田 その写真の、首のあたりに違和感を感じてたんです。些細な違和感だったんで見逃していたんですが。ロープの跡と重なるように、細いひもを束にして絞めたような部分があって.....

佐伯 細い紐を束.....？

汐田 .....有線イヤホン。もし、有線イヤホンで殺したなら首の跡に説明がつく

佐伯 それ、どっかで誰かが.....

川澄 加藤尚。ワイヤレスイヤホンじゃなくて、有線イヤホンを拘って使っていた

藤乃 尚がやったってのか！！？見かけによらない人は.....

佐伯 あんときイヤホンつけとった子か。何聞いとったんやろ

川澄 羞恥心とかじゃない？

佐伯 今ヘキサゴンファミリーの話する女子高生がどこにおんねん

汐田 あの跡がイヤホンによるものだと考えたら筋は通ります

川澄 待って待って！じゃああの音声は？藤乃先輩！やめて！みたいな

間

汐田 もし加藤さんが犯人なら、殺される直前まで、藤乃さんに助けを求めようとしていたのかもかもしれません……

川澄 ……あ～……

藤乃 あいつ……そんなところに私いねえっての……

衛藤入場

衛藤 すみません、遅れました

佐伯 俊一くん、犯人は見つかった。今から警察に言いにくいところやねん

衛藤 ほ、本当ですか！？よかった。ありがとうございます。あ……ただ、裏掲示板で見たこの投稿について皆さんに尋ねたかったんです。これ、なんですが。

衛藤がスマホを取り出す。

—

汐田 すみません。読んでもいいですか？それ。

衛藤 はい、お願いします。

照明の暗くして、汐田にピンスポ

汐田 幼少期から、暴力と隣り合わせだった。父親は痲癩を起こすとすぐ私をぶつ。大きな手が怖かった。迫ってくる手が怖かった。

汐田 私にとって、当たり前のことだった。

汐田 音楽に逃げた。両耳にイヤホンをはめて、好きな曲を聴いている間は現実に居ないような、そんな気になれた。

汐田 高校に入って、ダンス部に入部した。やっと見つけた、私の居場所。必死にしがみついて、努力した。死ぬ気で頑張った。みんな褒めてくれる、私を認めてくれる。嬉しかった。

汐田 あの子が入ってきた。あの子は全部を持ってた。欠けているのを必死に埋めるような私とは違う。オシャレな飾りを身に着けるように、努力するような人だった。

汐田 みんなは私の事なんて見なくなった。キラキラしてて、なにも悪いところなんて無い。私の目には、ほとんど完璧に映った。

汐田 キーンと、耳障りな音が頭の中で響く。私は父親と同じだ。あの子が『痛い』、『返して』って言うと、私の中で何かが満たされた。気持ちがよくて気持ちが悪い。

汐田 とんでもないことをした。分かってる。相手がどうじゃなくて、私がどう許されるかばかり考える。最悪だ。

汐田 こんな関係終わらせる。ちゃんと。

照明元に戻す

川澄 これって...加藤が投稿してるよね。

藤乃 尚が詩のこと虐めてたってことだよな.....

汐田 .....三日前。詩さんの亡くなる前日の投稿です。

佐伯 こんな関係終わらせる、こんなん殺害予告みたいなもんやんか。警察に渡そう

衛藤 そうか、こいつが。加藤って人が。ドジで付けた傷じゃなかったんですね。ドジで失くした失くし物じゃなかったんですね。なんで、気付けなかったんだ。クソ.....

詩のスマホから通知音が鳴る

汐田 .....！詩さんのスマホに、加藤さんからLINEが来ました。

佐伯 死んだる相手にLINEってどういう趣味やねん

藤乃 なんて来たんだよ

汐田 .....え？

川澄 汐田くん？

汐田 『今どこにいる？ずっと休んでるよね。』

佐伯 なんやそれ、サイコパス系殺人鬼やったんか？

汐田 『謝りたい、謝りたいんだよ。許してくれるわけないの分かってる。自己満足なのも分かってる。でも、謝りたい』って.....

藤乃 どういうことだ？訳わかんねえ

汐田 もしかしたら.....もしかしたらですが、加藤さんは詩さんの死にまだ気づいていないのかもしれない。

川澄 いやだって、加藤が殺したんじゃ……

汐田 加藤さんは、いじめをしていました。それは事実だ。二日前、彼女は旧校舎に呼び出して暴力を振るった。それも事実。ですが、詩さんは加藤さんと別れてから首を吊ったのかもしれない。

佐伯 結局、自分でってこと？

汐田 電話をかけます

藤乃 え！？電話！？

汐田、詩のスマホを操作して加藤に電話をかける

汐田 もしもし。代理で電話をかけている、汐田という者です。

汐田 ええ……はい。詩さんですが、先にお亡くなりになりました。……本当です、なんの冗談でもありません。学校は秘匿していますが、詩さんは死にました。……加藤さん、謝っても遅いんですよ。

汐田 被害者は、加害者の気持ちなんて知りません。貴女がどんな想いでいたとか、どんな環境で生きてきたなんて知ったこっちゃない。

汐田 二日前、貴女はいつものように彼女を旧校舎に呼び出した。ですよね。その時できた有線イヤホンの跡が首に残っていました。当時の音声も。……彼女は決めていたんでしょう。貴女が去ったあと、持ってきたロープで首を吊った。誰にも助けを求めず、独りで。

汐田 貴女が、殺した。

佐伯 充……お前

汐田 ……ただ、貴女は生きています。貴女は生きた。父親からの虐待を受けても、父親と同じく、他人に暴力を振るうようになった自分を嫌っても、貴女は生きている。

汐田 貴女は、赦されないことをした。ただ、赦されるために生きなきゃいけないんだ。……加藤さん。手は、怖いものじゃないんです。人を叩くためでも、叩かれた頬を抑えるために使うものでもない。他人の手を掴むためにあるんです。……遺族の方に、今回のこと、説明をしてあげてください。

汐田 ……はい。……はい。じゃあ……。

通話を切る。

川澄 っは～！！なんか、なんかめっちゃ緊張した

藤乃 クソ度胸してんな汐田お前！

汐田 はは、全部小説の受け売りですけど

衛藤 汐田さん

汐田 え、はい。

衛藤 ありがとうございます

衛藤、深く頭を下げる

汐田 あ～！いや！頭上げてください

藤乃 結局、犯人はいなかったんだな

佐伯 いや、ちやう。死因は、いじめやった。他殺や。……死にたいと実際に死ぬってのには、深い溝があんねん。

川澄 その溝が埋まるくらい、衛藤詩は追い込まれてた。加藤だけじゃない、周りも。気付かなかった私たちも、加害側の人間

汐田 極端ですが、一理ある。彼女はずっと独りで戦っていた。それは、加藤さんも同じだったでしょう。何度だって、手を差し伸べる機会があった

川澄 だから私たちがいる。差し伸べる手としての私たち。『はじけろ新星！スーパーノヴァ探偵団～ウチらってまぢ最強じゃん～』がね！！

藤乃 あ～！！！締まんねえな！！！

暗転

川澄、藤乃、佐伯、衛藤が段ボールにものを詰めて、部屋を片付けている。

川澄 衛藤くんごめんね、傷心する間もなく手伝わせちゃって

衛藤 何言ってるんですか。俺から言い出したんですよ。

川澄 ……そうだったね。佐伯！その後回し、こっち先やって

佐伯 俺には『佐伯くんごめんね(悪意のあるものまね)』とかないん？

川澄 ないけど

佐伯 せやんな

藤乃 え！？千晴、それ

川澄がスマホを持っている

川澄 デビューしたの。スマホ

佐伯 らくらくホンとかちゃうやんな

藤乃 かんたんスマホだろ

川澄 それおじいちゃんが使うやつでしょ、ちゃんとしたスマホ

藤乃 ヴァンメモ入れろよ、絶対

川澄 あ一気が向いたらね。今チャリ走やってるから

佐伯 ガラケーでもできるやつやんなや

衛藤 自分、ヴァンメモ入れました

藤乃 マジで！？！推し誰

衛藤 ベルベットです

藤乃 いい趣味してんな~~~~~

佐伯 あ！！！！みんな聞いてや、最近初めてフォーを食べたんやけ(ど)

汐田が入室してくる

汐田 お疲れ様で一……って何してんですか！！！！

佐伯 充く〜ん、タイミング悪いわ

川澄 見りゃわかるでしょ、『撤収作業』よ

汐田 てっ、撤収！？なんでですか！！

佐伯 バレたんや。学校は頭の固い連中。俺らの活躍とかどーでもええねん。出る杭は打つ。そういう方針なんや

藤乃 そりゃあもうあっさりと告げられたからな。処罰は与えないから、そんな危険な遊びはやめろって。あ〜むかつく……

汐田 いいんですか！！！！！！僕ら……犯人を捕まえて。警察でもわかんなかった事件解決したのに。あっさり解散なんて

川澄 汐田くん……

佐伯 充くん、そもそもグレーな活動やねん。慈善とはいえ、子供が勝手にやっていいことの範疇は越えとった。潮時や。



藤乃 そうだそうだ！おめーみてえな新参者がうるせえぞ

汐田 ……

衛藤 汐田さん、三人とも本当は悔しいんです。校長室から出た後、三人で泣いてて……(喋りながら泣き出す)

衛藤 今は強がってるけどお、皆さんほんとは悔しくてたまないんですよ……うう……

藤乃 なんでお前が泣くんだよ

衛藤 だってえ……

汐田 それでも僕らの居場所はここじゃないんですか！！！！

汐田 ……な～んちゃって

四人 ……は？

汐田 ここが解散、そんなこと知ってますよ、探偵オタク舐めないでください。探偵なんて解決の人！じゃなくて盗み聞きの人！ですからね

川澄 すごい偏見……

藤乃 でも、何が『な～んちゃって』なんだよ。実際この『スーパーノヴァ探偵団』は解散するんだし

佐伯 僕らの居場所、ってのがなくなるんはホンマやからな

汐田 これを見てください

汐田が一枚の紙を突き出す

藤乃 ああ？なんだこれ

川澄 神田ビル……契約書？

佐伯 ビルなんて契約してなにすんねん

汐田 そして、これ！！

汐田が二枚目の紙を突き出す

衛藤 設立登記…申請書？なんですかこれ……

汐田 活動拠点と、活動するための、紙

川澄 つまり……？

汐田 作るんですよ！！マジの、探偵事務所！新生『スーパーノヴァ探偵団』！

川澄、藤乃、佐伯、下を向く

汐田 あ……さすがに勝手に進めすぎましたよね。まずそれぞれの進路があって、高校生活との両立なんて無理っていうか、そもそも誰が高校生に依頼すんだって話で。ははは、すみません撤回しま(す)

三人 汐田(くん)(てめえ)……

四人、顔を上げて言う

三人 お前(君って)最高か！？？

汐田 え？

四人、半円を描くように並ぶ

佐伯 ほら、俊一くんも入って入って

衛藤 いいんですか

全員で中心に向かって手を伸ばす

川澄 みんな……『はじける新星！スーパーノヴァ探偵団～ウチらってまち最強じゃん～』これからも頑張るぞー！

全員 おー！！！！

手を上げる

わちゃわちゃ(やっぱ名前変えようみたいな会話)

幕閉め